

はっぽう

議会だより

大きくなって戻ってきてね！(サケの稚魚放流)
(八峰町少年水産教室)



3月
定例会

- 予算重点方針…………… 2ページ
- 定例会ダイジェスト…………… 3ページ
- ここが聞きたい！新年度予算…………… 6ページ
- 一般質問 目次…………… 8ページ
- 一般質問…………… 9ページ
- 表彰されました…………… 17ページ
- おらほの議員ってこんな人…………… 18ページ

おらほの議員ってこんな人

第4回 / 4回

議会議員（12名）を紹介します。今回は議席番号10～12番の3名の登場です。



かど わき なお き
門 脇 直 樹
(4期目)

スーツも似合うがカッパも似合う
海の男、門脇です。
明朗闊達、和して流れず。



みな がわ つつ や
皆 川 鉄 也
(3期目)

減反制度が無くなり先が見えない中、人間が生きるために必要な稲作りに生きがいを感じ精を出しております。
忙しく疲れた時でも整然と作付された水田に心身ともリフレッシュされ元氣とエネルギーをも頂いております。
今後この田園風景を守るため、地域活動を中心に日々精進して参ります。



あし ぎき たつ み
芦 崎 達 美
(4期目)

★孫と遊んだり食事での会話が楽しみです。
★石川生産森林組合理事
農家のパートナーとして、小物農機リース・販売サービス業をしております。やりがいは、お客様からおかげで助かった、ありがとうと言われた時の気持ちが最高です。
だからやめられない!!
農業は大きな機械はもちろん必要ですが小さい機械もあって成り立っていると思います。少しでも農家のお役になればと今日も頑張る!!ご来店をお待ちしております。

編集後記

地元での付き合い、支援者の獲得など「議員の仕事とは一体何なのだろう？」と疑問に思う。
議員に求められる役割は「行政のチェック」と「政策の提言」だ。多岐にわたる行政サービスの運用や税金の使途を調査するだけでも、時間が足りない。

団体や組織による地域の会合やイベント・地域の祭りや運動会など人の集まる行事への参加、国会議員や県会議員の選挙活動、支援者の獲得に日々多大な時間を費やす。

政策こそまじめに行うべきものであり、そうすればおのずと町民からの支持は得られるはずだ、と訴えても、皆「それは正論だ。しかし、選挙で勝たねば何も成し遂げられない」と言われる。そうなのだ。…、令和時代は如何に…。
(記 山本優人)

- 議会広報編集委員会
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 委員 | 委員長 | 皆川 鉄也 |
| 委員 | 副委員長 | 笠原 吉範 |
| 委員 | 山本 良子 | 悦人 |
| 腰山 良悦 | 山本 悦人 | |

峰浜地区統合子ども園建設に着手、
まち・ひと・しごと創生総合戦略事業も着実に



峰浜統合子ども園園舎（イメージ）

予算の重点方針（要旨）

★峰浜地区統合子ども園建設事業に着手

★仕事づくりのための産業振興事業

菌床しいたけ生産施設整備への支援
生薬栽培の安定生産実現
ブルーベリー栽培事業への取り組み

★移住・定住対策

移住定住促進空き家改修事業（2戸）
子育て世帯向け新築支援事業（5戸）
支え合い世帯向け新築支援事業（1戸）
移住支援金事業（家族1組）

★少子化対策

新婚世帯の引っ越し費用、家賃補助など（15組）
商工会が主催する出会いイベントへの補助
（地元企業・官公署の協力）

★交通空白地・交通弱者対策事業

交通空白地における有償運送事業への補助
バス乗車券類購入への補助（半額助成）

3月
定例会
ダイジェスト

3月定例会は3月1日（金）から15日（金）までの15日間開催され、条例の制定や一般会計及び特別会計の当初予算、補正予算、人事案件等が上程されました。そのほか、陳情2件を審査しました。一般質問では、8人が登壇し、町政をただしました。

一般議案

●八峰町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
超過勤務命令の上限等を設定するため、条例改正をいたしました。

●八峰町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
総務課内に設置する防災まちづくり室の室長等の級別職務を規定すること等の条例改正をいたしました。

●八峰町手数料条例の一部を改正する条例制定について
検診受診率の向上を図るため、検診受診料個人負担額について条例改正をいたしました。

●八峰町道路占用料徴

収条例の一部を改正する条例制定について
道路法施行令の一部改正及び消費税率の引上げに伴い、条例改正をいたしました。

●八峰町分収造林条例の一部を改正する条例制定について
分収造林契約の解除があるため、条例改正をいたしました。

●八峰町中小企業融資あっせん条例の一部を改正する条例制定について
創業資金融資を八峰町中小企業融資あっせんの対象に追加するため、条例改正をいたしました。

●八峰町営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について
入居者の高齢化への

対応として、認知症患者等の収入申告義務を緩和するため、条例改正をいたしました。

●八峰町空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例制定について
準用する上位法令を空家等対策の推進に関する特別措置法に規定するとともに、応急措置等を規定するため条例改正をいたしました。

●公有水面埋立について
秋田県知事より意見を求められている公有水面埋立について、公有水面埋立法第三条第四項の規定により議会の議決を求めました。

●八峰町過疎地域自立促進計画の一部変更について
同計画に新たに事業

を追加するため、計画の一部を変更しました。

●公の施設の指定管理者の指定について
生活改善センターやコミュニティセンターなどの集会施設、産地直売施設「おらほの館」、野菜集出荷施設、ハタハタ館、ポンポコ山公園及びポンポコ山公園パークセンターの指定管理者を指定しました。

●損害賠償の和解
1月15日の強風の際、和解相手方の車両の後部を破損させた事故について、損害の賠償について和解することにつき議会の議決を求めました。

●八峰町営簡易水道事業特別会計への繰入について
●八峰町公共下水道事業特別会計への繰入について



●八峰町農業集落排水事業特別会計への繰入について
 ●八峰町漁業集落排水事業特別会計への繰入について
 ●八峰町合併処理浄化槽事業特別会計への繰入について
 一般会計からの繰入を可決しました。

補正予算

●平成30年度八峰町一般会計補正予算(第5号)
 8797万7千円減額補正
 主な歳出：産地パワーアップ事業、担い手確保・経営強化支援事業等の農業関係補助金、林道塙線改良工事、各事業の精算などによる減額

●平成30年度八峰町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)
 53万2千円を追加補正
 主な歳出：後期高齢者医療保険負担金の増額等

●平成30年度八峰町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
 159万円を追加補正
 主な歳出：目名湯風力借地料収入の増額及びそれに伴う自治会への交付金の増額

●平成30年度八峰町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
 53万2千円を追加補正
 主な歳出：施設介護サービス費負担金の増額及び財源更生

●平成30年度八峰町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
 159万円を追加補正
 主な歳出：目名湯風力借地料収入の増額及びそれに伴う自治会への交付金の増額

人事案件

●教育委員会委員の任命
 山本朋子氏(再任・椿台)
 投票の結果、賛成多数で同意されました。
 賛成 10票
 反対 1票
 (議長を除く)

●八峰町人権擁護委員候補者の推薦
 齊藤一義氏(再任・中浜)
 投票の結果、賛成多数で同意されました。
 賛成 10票
 反対 1票
 (議長を除く)

●八峰町人権擁護委員候補者の推薦
 小林金則氏(再任・高野々)
 投票の結果、賛成多数で同意されました。
 賛成 11票
 反対 0票
 (議長を除く)

鈴木孝夫氏(再任・水沢下)
 投票の結果、全員賛成で同意されました。
 賛成 11票
 反対 0票
 (議長を除く)

大高忠生氏(再任・水沢中)
 投票の結果、全員賛成で同意されました。
 賛成 11票
 反対 0票
 (議長を除く)

工藤金悦氏(新任・浜田)
 投票の結果、賛成多数で同意されました。
 賛成 7票
 反対 4票
 (議長を除く)

太田たかね氏(新任・椿台)
 投票の結果、賛成多数で同意されました。
 賛成 7票
 反対 4票
 (議長を除く)

山本 看護師の労働はきついと察するが、全国一律に看護の報酬水準を上げると看護費に降りかかってくる。

★反対します

★賛成します

見上 看護師の給料を安定させることによって、患者も安心して

採択された陳情
 ●看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情書
 (秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 渋谷 一)

その病院に行けるし、この能代市、八峰町の経済普及効果につながる。若者たちが都市部に流れて行かないようにすることも大事である。

うことが非常に難しい状態の中で賃金を上げていくことは、会社の支払い能力が伴わない状況になる。

★賛成します

見上 秋田県の水準が上がらないのであれ

●最低賃金の改善と中小企業の拡充を求める陳情
 (秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 渋谷 一・秋田県労働組合総連合議長 三浦宣人)
 内閣総理大臣、厚生労働大臣に意見書を提出

★反対します

山本 農業・漁業というものの生鮮魚介類の値段というものは相場によって左右される。そのような中で、その労働費を吸収するとい



投票の様子

賛否が分かれた議案・陳情の採決結果

○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた議案・陳情を掲載しています。その他の議案はすべて全会一致で可決されました。

	水木壽保	山本優人	奈良聡子	腰山良悦	須藤正人	芹田正嗣	見上政子	菊地 薫	笠原吉範	芦崎達美	皆川鉄也	門脇直樹	議決結果
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	議長は採決には加わりません	原案可決
平成31年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○		原案可決
平成31年度八峰町国民健康保険事業勘定特別会計予算	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		原案可決
平成31年度八峰町介護保険事業勘定特別会計予算	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		原案可決
平成31年度八峰町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○		原案可決
看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情書	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○		採択
最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○		採択

ここが聞きたい!

新年度予算審査

(特別委員会)

質疑

平成31年度の一般会計及び各種特別会計について、町政全般にわたり数多くの質問が出ました。

2つの分科会で審議し原案可決しました。抜粋してお知らせします。

問 自主防災リーダーとは。

答 秋田県事業。県の想定よりも自主防災組織化が進んでいないため、自治体に補助し組織化を進めたいとしている。職員・町民で4名程度「防災士」の資格を取得する。先進地として神戸市があるのので、視察をして事業を進めていく。

て世帯向け新築支援事業」。

また、定住促進用空き家改修事業も、これまででは県補助金を活用していたため、入居できるのは県外転入者に限られていたが、平成30年度から町単独事業としたため、入居者用件は撤廃された。その結果、整備した2戸についていずれも町内の子育て世帯が入居し、町外流出の防止に効果があったと考えている。

問 民間賃貸住宅建設事業補助金は、私の一般質問で事業凍結となり、町長は、違う事業を立ち上げたいと答弁していたが、この予算を見る限り代替事業が見当たらないのはなぜか。

答 代替事業と呼べるものは、「住まいづくり応援事業」の「子育て世帯向け新築支援事業」。

問 脳ドックの補助金について、2万円×30人の60万円を計上しているが30人の根拠と30人以上申し込まれた場合はどうするのか。

答 30人については、現在実施している三種町を参考に設定した。また、30人を超えた場合には、補正等で対応したい。



修繕費がかさむ湯っこランド

問 包括支援センターの保健師は、すでに2月から産休に入っており、出産後育児休暇をとり、来年4月に復帰する予定であるため1年限定である。

問 非農地の件で町長が行政報告で謝罪したが、土地改良区と折り合いがつかっているのか。

問 体験センター主催イベントに無償のボランティアなどを利用しているのか。

問 介護保険事業勘定特別会計の地域包括支援センター運営事業費を産休保健師の代わりに勤務させる期間は1年なのか。今後も継続していくことになるのか。

答 包括支援センターの保健師は、すでに2月から産休に入っており、出産後育児休暇をとり、来年4月に復帰する予定であるため1年限定である。

問 体験センター主催イベントに無償のボランティアなどを利用しているのか。

問 介護保険事業勘定特別会計の地域包括支援センター運営事業費を産休保健師の代わりに勤務させる期間は1年なのか。今後も継続していくことになるのか。

答 折り合いはつけていない。あくまでも現況主義であるため、土地改良区との関係する場所の有り無しに関わらず、今後も判断していく。

答 過去の主催事業で高校生や短期での大学生ボランティアなどの実績はあるが、交通手段の確保等の問題がある。平日の学校対応や、夏場のシーカヤック活動など事故があった場合、安全管理面で問題などもある。

答 30人については、現在実施している三種町を参考に設定した。また、30人を超えた場合には、補正等で対応したい。

問 基盤整備事業に対して、町がもっと関わりを持つべきではないか。

答 本事業に関する町の役割は、土地改良や、地域住民等との橋

答 30人については、現在実施している三種町を参考に設定した。また、30人を超えた場合には、補正等で対応したい。

問 基盤整備事業に対して、町がもっと関わりを持つべきではないか。

答 本事業に関する町の役割は、土地改良や、地域住民等との橋

答 30人については、現在実施している三種町を参考に設定した。また、30人を超えた場合には、補正等で対応したい。

答 本事業に関する町の役割は、土地改良や、地域住民等との橋

答 本事業に関する町の役割は、土地改良や、地域住民等との橋

答 30人については、現在実施している三種町を参考に設定した。また、30人を超えた場合には、補正等で対応したい。



好評なシーカヤック体験

予算に対しての議員からの意見

平成31年一般会計及び特別会計当初予算の審査では、議員から様々な意見や要望が提案され、3月15日議会終了後、町長に付帯意見を提出しました。

その付帯意見を紹介します。

なお、町からの回答については、次号の議会だよりに掲載いたします。

意見1

高齢者コミュニティセンター(湯っこランド)について

高齢者コミュニティセンターについては根強い利用者があり、老人福祉増進の一翼を担っている。源泉の枯渇や施設の大規模改修の必要が生じ、廃止とする場合においては、利用者の理解を得る必要があることから、費用試算を示せるようにすること。

意見2

子ども園電子黒板の有効活用について

ICT教育充実のため、子ども園に導入した電子黒板が現状では十分に活用されていると認めがたい。有効活用を図ること。

意見3

ブルーベリー栽培について

職員が栽培指導を受けてから、ブルーベリー栽培を町内に広めようとするのではなく、最初に栽培希望の需要調査を行い、希望者が直接栽培指導を受けられるような事業を検討すること。

意見4

生薬栽培の採算性の検証について

生産量不足等から生産費が売渡価格を上回り、その差額を町が負担していくのでは生薬栽培の普及の見通しが立たない。生薬栽培の採算性を検証すること。

意見5

給食費の料金等の見直しについて

諸物価の高騰等により賄材材料費は増加傾向にあり、保護者半額負担の原則が崩れている。安心安全な給食を維持するためにも給食費の見直しを図ること。

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!!

8人の議員が一般質問

一般質問では8名の議員が町政について質問しました。

<p>p 9 笠原 吉範 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 キャッシュレス決済導入の対応について 2 高齢者の投票率の向上対策について 	<p>p 10 山本 優人 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 風力発電のもたらすもの 2 農業基盤の整備
<p>p 11 奈良 聡子 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 交通弱者対策について 2 八峰能代沖及び八峰～男鹿沖の洋上風力発電計画について 	<p>p 12 見上 政子 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国保税の負担軽減について 2 リフォーム制度の範囲拡充を 3 給食センター建設の延期について
<p>p 13 須藤 正人 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町長の水産庁への陳情について 2 洋上風力発電事業について 	<p>p 14 腰山 良悦 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 消防団員の安全対策について 2 ふるさと納税について
<p>p 15 菊地 薫 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基金取り崩しによる今後の財政運営は 2 洋上風車の景観への影響は 	<p>p 16 芦崎 達美 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校施設にエアコンを 2 町民主催イベントへの助成を

一般質問とは？

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町政執行における所見や疑義について質問できるものです。
本町では、効率的な議会運営のため質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」とし、議員はその内容に沿って質問します。
質問時間は1人につき質問答弁を含め55分以内で完了することとしています。再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができます。

キャッシュレス決済の対応は

町長 円滑な導入が

図られるよう取り組む

応じて商工会等関係機関と連携し、円滑な導入を図られるよう取り組む。端末導入への補助は、決済事業者と国が補助するとしており必要がないと考える。

笠原 10月からの消費増税に伴い、政府はキャッシュレスの買い物でポイントが還元される施策を打ち出している。

町長 ポイント還元制度は、中小・小規模事業者と消費者双方にメリットがあるが、高齢者にとっては理解しにくいと考える。国では4月以降に本格的な周知や広報を行うとしている。講習会の開催は必要に

必要に



低下傾向にある町の投票率

町長 これまでの投票率をみると、80代以上の投票率が他の年代に比べて低く、50%に満たない状況が続いている。投票日当日の立会人の確保が難しくなったことなどから、平成21年に11か所あった投票所を8か所に再編し、投票所までの距離が遠くなった地域がある。投票カーの巡回やバスによる送迎について検討する必要があると考える。

高齢者の投票率向上対策を

町長 投票カー巡回や送迎を検討

笠原 近年、八峰町における投票率は低下傾向にあり、特に高齢者の投票率が低下している。免許返納等、移動手段を持たない高齢者が投票に行けないのが要因の一つと考える。高齢者の意見を行政に反映さ

は。講習会の開催や端末導入への補助などの考え



笠原 吉範 議員

風力発電の

監視データの共有を

町長 事業者に要望していく

山本 自然環境を軸に観光振興を図る八峰町からみれば、風力発電は手放して推進する立場をとることができないことは明白だ。

業所の誘致や町内産業との連携または事業投資の参加を求めることが、受入側である町の対応と考える。

町長

環境モニタリングは、

事業者の責任において実施されるものであるが、洋上風力については新しい法律ができて法定協議会が出来るので、町から事業者申し入れることは可能だと思ふ。

利害関係者も中へ入

って県と共に議論できるので、立地する地域の方々が潤う仕組みについても当然提案していきたい。

また、環境等と引き換えに発電事業者と密接な関係を構築し、事



基盤整備が望まれる未整備圃場

冬季期間の

施設園芸を凶れ

町長 農協青年部等と

協議していく

山本

農協青年部、町、教産建委員会との意見交換会

で、町として小区画圃場や中山間地農地の基盤整備の推進を求めら

町長

事業実施を希望する地域については、町や県・

機構が地域に向いて説明会や勉強会を行い、農家負担がゼロで実施できる事業の周知を図ることができる。

また、冬期間の施設園芸で冬季野菜の温泉水を使ってハウスでの生産物が出来ないか、その期間を農家各自が出資や資材提供など、共同で運営するようなシステムも見込み的に行う。JA青年部からも提案があり協議したい。



山本 優人 議員

交通弱者対策の

進め方は

町長 叩き台を基に

住民の意見反映



全町をカバーできる巡回バスの仕組みづくりが求められている

町長

町有バス・子ども園・

スクールバス運行事業、公共交通空白地有償運送事業の担当課を中心に人選する。チーム作成の叩き台を基に数箇所懇談会開催、実態把握と意向調査し素案をとりまとめる。叩き台ができたら議会に説明する。「語る会」で素案に反映できそうな意見や要望が出れば参考にする。

奈良

①由利本荘市では、風

力発電の低周波によると思われる体調不良を訴える人たちが始めている。風力発電は環境にやさしいと言われるのか。林立する巨大な風車は世界自然遺産白神山地にふさわしい景観か。景観は破壊されつつあるのでは。②日本風力開発の大規模な洋上風力発電計画を、町は事前に把握していたのか。説明会の開催は。この計画にどう対処するつもりか。

町長

①平成28年の環境省の報告書や、健康被害があったとされる自治体への昨年のヒアリングでは、低周波音と体調

変化した因果関係は確認できていない。洋上風力は陸上風力よりかなり遠くに立地されるので、人体への影響の懸念はより少なくなると考える。既設の風車が白神山地の景観に悪影響を及ぼしているとは考えていない。②担当者へは昨年12月、私には今年1月説明が

奈良

由利本荘市で健康被害が出ていることについてどう思うか。

町長

直接聞いていないので分からないが、もし健康被害が出ているとすれば由利本荘市が事業者と住民との調整を求めべき。



奈良 聡子 議員

住宅リフォーム制度の 拡充を

町長 新たな支援を設け 拡充する

見上 住宅リフォーム事業は、年度内か否かにかかわらず重複出来ない。年度を区切って再度使えるように出来ないか。また、敷地内の車庫や作業小屋等にも使えるよう制度の拡充を。

歳未満の子などが同居や同じ敷地内に住宅を新築する「支え合い世帯」向け住宅も支援することとした。また、住宅診断や耐震改修への支援制度を新たに設けるなど、より多くの世帯へ行き渡ることを優先したい。

町長

リフォーム支援事業は今年度から改めて受付を開始しており、交付申請を同一年度内に1回限りとする規定を設けているが、補助金が限度額に達していなければ、翌年度以降の異なる年度に再度申請することを可能にしている。

従来の「子育て世帯」向け新築住宅に加え、65歳以上の高齢者と40



冷暖房のない給食センターで働く調理員

現施設で給食の提供は 安全か

教育長 空調設備を早期に 整備する

見上

給食センター
1 改築延期
の経緯は。

教育長

検討委員会を設置し、平成32年度建設の提言があり、昨年12月定例会の行政報告で「早期建設に向け、提言さ

見上

建設を延期した給食センターで安全な給食を提供できるのか。

れた内容を参考にしながら計画を進めていく。」と申し上げた。しかし、平成31年度当初予算を組むにあたり、平成30年度の基金から多額の繰入金が必要であることに加え、耐震診断で建物に問題がなく、調理機器も良好な状態であることから改築時期を先延ばし出来ると考えた。

教育長

現在の給食センターは1000食対応の機器を有し、調理釜などが壊れて使用出来ない状態になっても、予備の機器で対応できる。調理室内の冷暖房設備は早急に整備し、食中毒防止、調理員の快適な職場づくりに努める。

※国税の軽減負担についても質問がありました。



見上 政子 議員

水産庁への陳情の 内容は

町長 養殖を軸とする 事業計画説明し要望

須藤 昨年町長と漁協幹部が水産庁へ陳情に行ったと聞いている。離岸堤を造り養殖事業をやるという話だが、その事

業について知らされていない漁業者もあり、議会への説明もない。過去にヒラメの試験養殖に失敗したにも関わらず、関係者による検

町長

平成30年2月県漁協から町に、岩館分港に第2防波堤設置により静穏域を造成し「つくり育てる漁業」を推進するよう要望書が提出され、同時期に組合幹部と前町長が知事へ要望活動。これを受け同年4月県が窓口となり関係者で会議、その後実務担当者会議3回、全体会議1回開催。事業実現に向け関係者一丸となって進めていくこととし、昨年7月と今年2月に国へ要望して来た。

平成30年2月県漁協から町に、岩館分港に第2防波堤設置により静穏域を造成し「つくり育てる漁業」を推進するよう要望書が提出され、同時期に組合幹部と前町長が知事へ要望活動。これを受け同年4月県が窓口となり関係者で会議、その後実務担当者会議3回、全体会議1回開催。事業実現に向け関係者一丸となって進めていくこととし、昨年7月と今年2月に国へ要望して来た。

洋上風力 景観と漁業への影響 どう考えるか

町長 法定協議の場で意見述べていく

須藤 J・R・E社（ジャパ・リニョニアブル・エナジー社）に続き日本風力開発が八峰町沖から男鹿沖にかけて国内最大規模の事業を計画している。景観破壊、漁業への悪影響が懸念されるが町長の考えは。

法定協議会での協議等において法的に守られていくものと理解している。

魚は騒音や振動に非常に敏感だ。洋上風車の乱立で県沿岸の荒廃を危惧する。

須藤

陸上風車の振動が潜水している人に相当の音量で聞こえるそうだ。

町長

「利用法」により法定の協議の場ができるので、話をしていきたい。

町長

4月に「再エネ海域利

須藤 実際につくり育てるのは漁業者であり、最初に聞くべきでは。

町長

今後漁協幹部と会う際にただしたい。



離岸堤設置による静穏域の造成を要望（岩館分港）



須藤 正人 議員

消防団員の安全対策は

町長 マニュアルの見直し、研修を行う

腰山 能代での火災現場において署員が殉職するという痛ましい事故が起きた。

団員の災害時における安全管理に必要なマニュアルが策定されているのか。また、定期的に研修が行われ、安全対策は取られているのか。

研修「や協会支部の「団員研修」に参加している。

腰山 マニュアルが有効に活

かされ、町独自の研修が行われているのか。

総務課長 マニュアルによる

研修の実績は無かったと記憶している。

副町長 今回の事故を受け、

団員の安全を図るためにも八峰署と共に研修を実施したい。

町長 平成27年9月に「八峰町消防団・安全管理マニュアル（火災・地震津波）」を策定し、団員への周知をしている。東日本大震災以降も大災害が発生していることから、今後、県や消防署等の助言を頂きながらマニュアルの見直しを行う。



当町のふるさと納税返礼品

ふるさと納税の推進について

町長 返礼品メニューの充実を図る

腰山 ふるさと納税は貴重な財源だ。

町長は予算編成方針で、ふるさと納税の推進と町内産業の活性化を図るため「ふるさと八峰特産品プレゼント事業」を積極的に推進するとあるが、具体策は。

町長 町としては基本的に制度的趣旨を順守した上で、「体験メニュー」を含め、返礼品メニューの更なる充実を図りたい。

腰山 町、JTB、取り扱い業

者と連携の上で、情報交換とか商品開発に助言を求めるとかいろいろ工夫が必要では。

町長 さまざまな工夫をすることが、ふるさと納税の額を上げる方法の一つだとは思う。いかに町の特産品を閲覧し、気に入っていただけのかというところがこれらの課題である。

基金取り崩しによる今後の財政運営は

町長 事業を精査し、歳出を見直す

菊地 基金から多額の繰り入れで編成された予算、今後の町政運営に支障ないか。早急に財政計画を示すよう求める。

町長 平成31年度からの財源

不足は4年間で30億円と見込まれる。平成30年度末の基金残高は約28億円となっており、今後の運営については基金が枯渇することがないよう、また、限られた財源の中で最大限の行政効果が発揮できるように、事業を精査しながら歳出の見直しをしていく。

菊地 圏域構想の全国自治体

アンケートについて、八峰町は反対と回答したがその真意は。

町長 能代山本地域の定住自立圏構想と考えを同じくするものであり、新たな枠組みを取り入れる必要性を感じられなかったので反対と回答した。



鹿の浦展望台からの景観（能代市方向）

洋上風車の景観への影響は

町長 法の規定により景観に配慮

菊地 一層深刻さを増す計画

の乱立、この事態をどのように捉えているのか。

次に、漁業や健康への影響に加え、景観も損ねると考えるが。

町長 「再エネ海地域利用法」

により、有利な条件が揃ったことや、公募により選定される可能性が出てきたことが、大手企業が参入を計画している背景にあると思う。次に、法の規定により景観に配慮した計画が認定されるものと考えている。仮に本町の沖合に風車が建設されたとしても景観に配慮した立地になると考える。

菊地 仮に計画通りに洋上風力が事業化された場合、風力特区として広く市町村と連携を働きかけることも必要では。

町長 特区となる」と規制緩和を活用して積極的に洋上風力発電事業を誘致していることなるため、町のこれまでの姿勢と相反し馴染まない。



菊地 薫 議員



腰山 良悦 議員

学校施設にエアコンを

教育長 状況を見て判断

芦崎 近年の気象状況では、学習環境を整え、快適に学習できる場所の提供が必要だ。熱中症などで痛ましい事故が発生している例もあることから普通教室にもエアコン設置を。

教育長 教育委員会は、熱中症は生命を脅かす危険があることを職員に自覚させ、児童生徒の生命を守ることを第一に指導しており、校内における各種活動や学習も環境省が示す「暑



普通教室にはエアコンが設置されていない

さ指数」を参考に判断している。町内の気象状況を調査した結果、過去5年間登校日で28度以上の日は0〜8日だったため、町では過ごしやすいとの結果や財政面などを考慮し、設置していない。今後の状況を見たらうえて判断したい。

芦崎 国の特例交付金事業に本町が申請しなかった理由は。

教育長 本町の基本的考えは、これまでの判断で対応できるとしていること、又、これに伴う予算も多額であり予算執行上無理があると判断したので交付金は申し込まなかった。

芦崎 住民主催の小さなイベントが多く、町民から好評を得ている例もあるが、地域活性化の起爆剤として継続可能な助成金は考えられないか。

町長 地域を元気にするため、頑張っている団体、町民を楽しませているイベント等への助成については、プレゼンを受けて審査委員会で見定できるような「八峰

町民主催イベントへの助成を

町長 「町を元気にするイベント支援事業」として検討

町を元気にするイベント支援事業」などの可能性を検討したい。



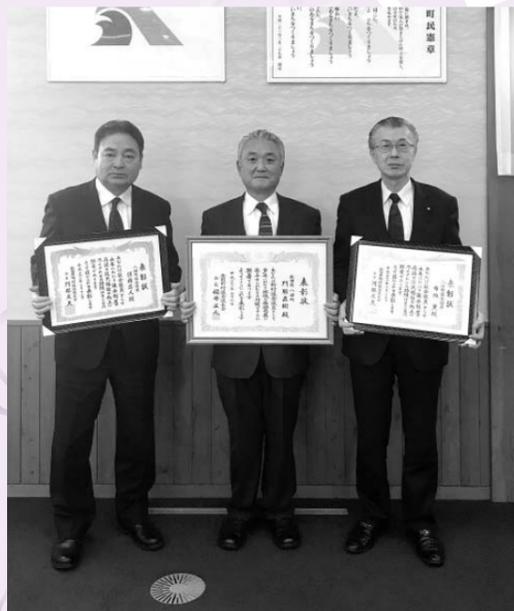
芦崎 達美 議員

長年町村議会議員として尽力された功績を称え表彰されました

全国町村議会議長会より15年以上議員在職者として門脇直樹議長が、秋田県町村議会議長会より23年以上議員在職者として須藤正人議員・菊地薫議員が表彰されました。



表彰状を受け取る門脇議長



表彰を受けた須藤議員、門脇議長、菊地議員（左より）

議会を傍聴しませんか

次の定例会は、**6月中旬**に開会予定です

傍聴の手続きは簡単!!
傍聴席の入り口で、名前と連絡先を書きだけです。団体でいらっしゃる場合はご連絡ください。

